

倉敷に灯をともし

町家再生

美観地区「本町御坂の家」

まねなもん
まうげん

岡山再発見

町家の再生・活用を通して地域の生活文化を継承し、景観の保全を目的に活動しているNPO法人「倉敷町家トラスト」による初

1日1組貸し切り、宿泊もOK
調度や備品に倉敷らしさ

「まちに灯（あかり）をともし」をスローガンに活動している倉敷町家トラスト（代表理事・中村泰典氏）。2006年にNPO法人として認証され、町家再生・利活用事業を推進している有志グループだ。会員は地元

の再生物件「本町御坂（ほんまちおんさか）の家」（岡山県倉敷市本町）が8日オープン。1日1組のみの貸し切り制で宿泊施設や貸室として利用できる。

で、ここ10年ほどは空き家になっていた。細い坂の上に立地しているため工事が難しく、老朽化が進んで廃屋同様の状態だったものを会員の協力で再生し、「町家生活体験施設」としてよみがえらせた。

建物（33平方メートル）は、岡山県特有の焼き杉を張った風情ある木造平屋建て。梁や柱など、建材の一部には以前の建物のものであるものを使用している。壁は漆喰（しっくい）と小舞（こまい）仕立ての土塗（こま）り壁。「失われていく形と記憶を伝えよう」と、壁塗り作業には町内の子どもたちも参加した。

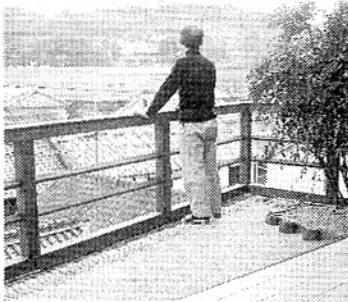
本町界隈の町家の美しい屋根瓦が一望できる。調度や備品も地元あるいは県内産にこだわっており、ガラスコップや湯飲み、照明器具、畳にいたるまで地元の職人の手によるものを使用して「倉敷らしさ」を打ち出している。

間取りは6畳の和室、ダイニングキッチン、バス・トイレ付き。高台に位置するため眺望のよさがウリで、キッチンの張り出し窓やテラスからは

同家はホテルや民宿と違ってノンサービス。町家での生活を楽しまながら自分流の1日が過ごせ、誰にも気兼ねなく旅が満喫できるのが特徴だ。誰でも利用できるが、非会員の人は別途会費（正会員、賛助会員、サポーターのいずれかに登録）が必要。利用料金は平日1人利用1万円からとなっている。

問い合わせは倉敷町家トラスト ☎080・5232・6462（正午～午後7時まで。ホームページ：<http://kurashiki-machiya-trust.jp/>）

（川崎 じゅえ）



①高台に立つ「本町御坂の家」 ②テラスから見える本町周辺の「臺（いらか）の波」